

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

5月号

Vol.192

毎月1日発行

杜の伝言板

ゆるるる

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業



スマイルが咲きました!



カーン、カーン……
鎮魂の鐘、希望の鐘

特集

復興への道

- NPO法人山元・あしたの響き
- 一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ
- NPO法人スマイルシード
- NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
- NPO法人働く場づくりコナモレw

【トピックス】

■登米の市民活動を応援します
(NPO法人とめ市民活動フォーラム)

山頂から鎮魂の音が響く日に何けて

● NPO法人山元・あしたの響き

山元町山寺地区にある深山山麓少年の森、そこから一時間弱かけて遊歩道を歩くと標高二八七メートルの深山山頂に至ります。そこは山元町内のほか、沿岸被災地を広く一望できる絶景スポット。この場所に来年二月、震災犠牲者を悼む鎮魂の鐘が設置される予定です。

鐘を設置しようとしているのはNPO法人山元・あしたの響き(以下、あしたの響き)です。今年四月、山元町深山山麓少年の森に鐘が仮設置され、集まった人々は犠牲者を思いながら厳かに鐘の音を響かせていました。

犠牲者へのモニュメント

あしたの響き理事長の長岡久馬さんはもともと深山の大ファンで、これまで一三〇〇回以上も深山に登り、草花の写真を撮っては、その魅力を紹介し続けてきました。

震災で山元町は町の面積の三分の一以上が浸水する被害を受けました。「震災前の景色と比べると、頂

上から見る被災地は無残でした。そして頂上に設置されている登山者ノートに犠牲者への想いがたくさん綴られているのを目にするにつれ、『何かモニュメントが必要だ』という思いに駆られるようになりました。震災後も深山へ登り続けている長岡さんは当時を振り返りました。

鎮魂の鐘をそのモニュメントとしたり、たきつけは、二〇一一年十一月、塩竈市に復興の鐘が設置されたことと新聞が報じたことでした。以来、長岡さんは『深山頂上に鎮魂の鐘を』と考えるようになりました。



▲山頂から響く音を想像しながら鐘を鳴らす長岡理事長

最終的に深山山頂に鐘を設置するまでにかかる費用は一五〇〇万円。個人的に寄付を募ったとしてもたかが知れていると考えた長岡さんはNPO法人の設立を考えました。

地元で賛同と寄付を集める

まず、長岡さんは地元の人々からの賛同を得るため奔走しました。鐘を山頂に設置するにあたって、深山山頂の地権者である深山神社、また町から委託を受けて山林の管理をしている山寺愛林会からの支持は欠かせないものでした。また、昨年の六月にNPO法人化するにあたっては、町内ですでに活動しているNPO法人の知人の力も借りました。こうして法人化したあしたの響きには、代々山元町近辺に住み、山元町はもちろん、深山を始めとする山元町の豊かな自然を愛する人々が集まっています。

ただし、法人は立ち上がったものの、資金の用途はついていませんでした。鐘を設置するという目的にお金を出してくれる助成財団、基金は皆無。費用は寄付金で賄うしかありません。メンバーは根気よく町内を回り、寄付を呼びかけました。

その結果、これまでに集まった寄付金額は約六五〇万円。件数にするると三〇〇件以上で、町民だけでなく、山元町出身で今は県外で暮らす人々

からも多くの寄付が寄せられています。

残りの費用について、長岡さんは「法人設立からこれまでの十か月で六五〇万円集まった。これまでは個人を中心に寄付を集めてきましたが、これからの一年弱、法人など大口寄付も視野に入れて集めていきたい」と話しています。

町の新しい名所に

来年二月に完成予定の鐘は石造りのテラスに設置されます。当面はそのための資金調達が活動のメインとなりますが、あしたの響きの活動は鐘の設置以後も続きます。一つ考えているのが、四方山、深山、小齋峠と山元町の西端を走る山々の尾根に『鎮魂の道』を作ること。遊歩道を設け、そこに鎮魂の鐘の姉妹ベルを設置します。そこには、一連の活動を単なるロマンティズムに終わらせるのではなく、新しい山元町として再出発するための名所づくりとして行こうとする姿勢が表れています。

NPO法人山元・あしたの響き

〒989-2201 亘理郡山元町山寺字山下52
 ●TEL/FAX : 0223-37-3364
 ●E-mail : npo-hibiki@amail.plala.or.jp
 ●URL : http://www12.plala.or.jp/y-a-hibiki/

● 一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ
 こころの支援の拠点として

一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ(以下、こころのケア・ネット)は、震災後の二〇一一年六月に団体を設立し、石巻市、東松島市、女川町の三市町の被災者が精神的な健康を保てるよう、訪問型支援を中心とした活動を行っています。

いち早い支援のために

こころのケア・ネットの活動は、地元石巻市の精神科宮城クリニック、仙台市の精神科原クリニックの両院長を始めとするスタッフが担っています。

震災直後、自身の病院が浸水被害に遭いながらも宮城クリニックでは、物資提供や浸水した自宅で避難を続ける地域住民のケアにあたりました。しかし、震災のストレスを抱える被災者の数に対し、石巻の中だけでは医療スタッフが足りません。そこに、全国の開業精神科医の集いである公益社団法人日本精神神経科診療所協会から支援チームの派遣が



▲からこるステーションのスペースの一部は市民にも貸し出されています

ありました。両クリニックを中心にその受け入れをしつつ、被災地を回るなかでこころのケア・ネットが生まれました。

こころのケア・ネット代表理事で原クリニック院長の原敬造さんは「甚大な被災状況を見て、より迅速な民間支援が必要になると感じ、法人を立ち上げました」と言います。

避難所が閉まった九月頃には他の支援チームは撤退していきしましたが、こころのケア・ネットでは地域との繋がりができたことで、より継続し

た活動の必要性を感じていました。二〇一一年一〇月、宮城県と石巻市からの事業委託を受け、石巻周辺の住民を対象に心のケアを中心とした健康相談などを行う『からこるステーション』を石巻駅前に開所することになりました。

あらゆるニーズに対応して

からこるステーションでは、従来の訪問支援に加え、随時、無料電話相談や来所相談も受けています。相談のなかで多いのが、仕事が見つからないこと、不安や困窮した生活、アルコール依存について。その一か月の延べ件数は、現在でも約六〇〇件に上ります。

震災によって精神科利用者を取り巻く環境は悪化しました。震災以前、石巻周辺には七か所の精神科医療機関がありました。また、仙石線を利用して、仙台の病院に通院する人も少なくありませんでした。それが、現在では病院数が五か所、交通の便も不便になりました。その分、周辺の各病院の負担が大きくなっていきます。からこるステーションには、それをカバーする役目も求められています。

また、震災から二年が経ち、相談の様子も変化してきました。臨床心理士の渋谷浩太さんは「高齢者、重度のうつ病の方などリスクの高い方

ほど、取り残されているような気持ちになります。同じ被災地にいっても、そうではない方との二極化が色濃くなってきました」と話します。このような利用者には、繰り返し訪問し、要望があれば、自宅でもなくとも出向いて支援を続けています。

継続した活動のため

こころのケア・ネットでは、まず自分たちの活動を『十人のうち三人に知ってもらおう』ことを当面の目標としています。利用してもらおうには、まず知ってもらわなければなりません。石巻駅前でチラシを配ったり、地域で活動する団体と協同でワークショップを開催したりと積極的な広報も欠かせません。

支援を続ける傍ら、このようからこるステーションの周知にも力を入れるのは、こころのケア・ネットが、この震災後の精神保健活動を少なくとも十五年は必要なものと考えているからです。そのために、石巻の地域に根を張って活動を続けます。

一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ
 〒986-0826 石巻市鑄銭場3-19 秋田屋ビル一階
 ●TEL/FAX : 0225-94-2966
 ●無料相談電話: 0120-322-016(10時~16時)
 ●URL : <http://karakorostation.jp/>

合言葉は 「笑顔の種をまこう！」

● NPO法人スマイルシード

東日本大震災の津波で以前の風景を失ってしまった石巻市、東松島市でかつての美しい風景を取り戻そうと全国から駆け付けたボランティアと一緒に、植樹や公園整備を行っているNPO法人スマイルシード（以下、スマイルシード）。

●●● 何もしないではいられなかった ●●●

スマイルシード理事長の黄本富士子さんは石巻市出身。オーガニックサロンを経営していた黄本さんは仙台のオフィスで震災に遭いました。翌日、県庁で石巻の惨状を知ると、十三日に家族の安否確認のため、内陸を通って故郷石巻に戻りました。想像を絶する石巻の変わり果てた姿がありました。「何かしなくては」といても立ってもいられなくなり、仙台と石巻を往復しては、車に物資を積んで避難所を回り炊き出しをする日々が始まりました。

震災から二か月、家族が体を心配するほど多忙な日々を過ごしていたある日、友人から「鏡をみてみたら」

と声を掛けられます。鏡を見ると笑顔を忘れた自分の顔が。「あなたが笑顔にならないと、みんなも笑顔にならないよ」と言われます。個人的な活動の限界も感じていた黄本さん。長期的に活動を続けるためにも、これまで共に活動してきた仲間とともに団体を立ち上げ活動するのことにしました。

●●● 何でもウェルカム、広がった活動 ●●●

団体名は「どんな大変な状況でも希望が持てるように、笑顔の種をまこう」を合言葉に「スマイルシード」とし、手始めに被災地の子どもや避難生活をしている人々に花の種が付いたメッセージハガキを配る「スマイルシードレター」事業を始めました。二〇一一年十月には認証を受けてNPO法人となりました。

地元石巻で支援活動を続けるうち、スマイルシードには様々な依頼が舞い込んできました。物資提供、イベントの開催、ボランティアの受け入れなど依頼は多岐にわたりました。

たが「すべて、YES!」と引き受け、声を掛けてくれた人の気持ちに伝えるため奔走。その活動を支える支援者も、かつて黄本さんが国際NGOで活動していた当時の仲間や、中越沖地震、阪神大震災での支援経験のあるボランティア仲間、財団、企業など全国に広がっていききました。

●●● 復興と森づくりを通じた人材育成 ●●●

昨年三月、東松島市宮戸島の公園に木を植えてくれないかという依頼が来ました。震災後、島全体が一・二メートルも地盤が下がり、津波の被害で木を植えても次々に枯れてしまう状態の場所でした。そこでスマイルシードは地元の宮戸島ボランティアの会とともに協力して、「森と海の約束」〜いこいの森・希望の島〜プロジェクトを立ち上げました。連携団体の日本財団Gakuyo隊、一般社団法人OPEN JAPANの協力のもと、瓦礫の撤去から、草刈り、土おこし、土壌改良、種まき、植樹、公園整備までを行う壮大なプロジェクトです。

今年四月十八日には新人職員研修として山形県の職員ボランティア一六〇名が参加。丸太で階段を作ったり、公園を彩る草花を植えたりと、公園整備も佳境に入りました。

現在、同様に石巻市渡波、石巻市小淵浜でもプロジェクトを進め、植



▲黄本理事長(左から2人目)と山形県職員のみなさん

樹による被災地復興に励んでいます。スマイルシードではこれらのプロジェクトに全国からのボランティアを受け入れ、災害時の体験とともに自然から学ぶことの大切を伝えていきます。「活字や与えられた情報からではなく、人とのつながりや自然とのかかわりなど、ボランティア体験をして感じることから学んでほしい」と黄本さん。今年度は植樹と人材育成を組み合わせた「森と海が育む人材育成」ともに歩む未来プロジェクトもスタートさせます。

NPO法人スマイルシード

石巻事務局：〒986-0851 石巻市真山1-6-50
●TEL：090-3754-5466
●URL：http://www.smile-seed.org/

ICTをもっと生活を豊かに

● NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城

ICTという言葉がさまざまな場面によく登場するようになっていきました。ICTとは、情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称です。今や身近になったスマートフォンやパソコンなどでICTが応用されることで、ひとりひとりが高度情報化社会に適応した豊かな生活を送ることにつながると思われています。NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城(以下、ICTネット)は、県内のICT普及団体のネットワーク技術向上により、ICTを活用した市民の情報リテラシーの向上を図ることを目的にしています。

● ネットワーク設立による変化 ●

ICTネットの活動は、二〇〇九年八月にスタートしました。当時、県内にはいくつかICT普及団体が存在し、各団体がそれぞれの方法で講座などを開催していました。ところが、団体や講師によってスキルやPC環境に差がありました。そこで

NPOのICT化促進を検討していた杜の伝言板ゆるるが、県民のICT利活用の普及促進を目指していた宮城県と協働し、ネットワーク間の情報・技術の共有を図るべく県内十一団体によるICT支援NPOネットワーク宮城が誕生しました。

当初の活動は、ネットワーク構成団体の各ICT指導者のスキル向上でした。各団体に呼び掛け、現在、各団体が指導者として活動している方々から指導者となるうとしていく方々に対して、ICT指導者のスキル向上を目指して「ICT指導者養成研修会」を毎月開催。各段階を踏んだ半年後、その実習の場として県民向けの「ICTスクールみやぎ」を開催し、県民へのICT普及とともに指導者として向上の機会としました。その際は、各団体のリーダーがアドバイザーとして指導方法を協議しながら進めることで、ネットワークの意義を確認しました。

そして翌年は、指導者のさらなるレベルアップと専門を深める「ICT指導者スーパーバイザー研修会」

も年に数回開催し、単一の団体では難しい専門家による学びの場を実現できることとなりました。

● ICTが生む「つながり」とは ●

昨年の四月に、事務局を杜の伝言板ゆるるから独立し、宮城県の主に被災者を対象とした「NPOによる県民向けICTスキルアップ支援業務」を受託。県域十二市町(うち沿岸部九市町)、全四十回(うち沿岸部三十四回、仮設住宅十六回)のパソコン及びタブレットPC講座を開催し、のべ三四五人が受講しました。

この活動で見えてきたのは、被災地でのICT支援の必要性でした。仮設住宅や避難先で孤立している人々がICTを利用して周りと交流する機会が増えることが期待されています。副理事長の武藤正勝さん



▲石巻市蛇田地区で開催された一般県民向け研修「デジタル写真を楽しもう！」

は、「仮設住宅や避難先では、パソコンやタブレットPCをリビングに置いたまま使えていない高齢者もいます。そういった方々に端末に触れてもらい、そこからICTによる『つながり』を生み出す場として、講座を開催したい」と話します。

今年一月にNPO法人となったICTネットは、六月から十二月まで南三陸や登米地域で被災者向けのタブレット講座と、フェイスブックなどを活用したネットコミュニケーションサロンの企画。また、宮城県からの委託による被災地でのPCやタブレット活用の講座は、気仙沼や石巻など被災地沿岸部五か所、計五〇回の開催が予定されています。

武藤さんはこれからのICTネットの活動ビジョンをこう語ります。「ネットワーク空白地域のICT支援のNPO設立も含め、地域ごとのニーズに合わせた活動を進めたい。これからは地域に根ざしたNPOによるICT支援が必要で、我々はそういったNPOと住民を支えていきたいと考えています」

NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザレーターケースNo.39

●TEL/FAX : 022-293-7767
●E-mail : ict@ictpo-miyagi.jp
●URL : http://www.ictpo-miyagi.jp/

女川に集いの場所を

●NPO法人働く場づくりコナモーレW

女川港から万石浦方面へ向かった高台、桜ヶ丘に一軒のカフェがあります。『カフェRio's』を運営するのは女川町住民が組織したNPO法人働く場づくりコナモーレW(以下、コナモーレ)です。

●●● 町民の笑顔が見たい ●●●

牡蠣やホヤ、ホタテなど養殖業が盛んな女川には、魚食の普及を目的に活動しているグループがあります。コナモーレ代表の須田美喜さんもその一員です。

普段は女川町内でOLとして働いていた須田さんは、仕事で石巻へ向かう途中に震災に遭いました。幸いにも須田さんの自宅は津波の被害を免れましたが、震災の影響で職を失いました。

また、震災後はそれまでのコミュニケーションが機能しなくなりました。「別々の避難所で生活していたり、町外へ避難したりする人もいたため、隣近所どうしの会話も以前より減りました」と須田さんは震災後の

地域の状況を振り返りました。

震災後の五月、東京の市民団体「ウーマンズフォーラム魚」から協力があがり、須田さんたちのグループは炊き出しを行いました。炊き出しをするなかで、須田さんは女性たちの変化に気づきます。震災以来、常に不安そうな顔をしていた女性たちが、お互い会話をしながら炊き出しをするうちにだんだんと笑顔になっていったのです。

これをきっかけに須田さんは会話ができる場所が女川には必要という気持ちが強くなっていきます。「津波で町の中心部からはお店がなくなっていたし、女川には気軽にお茶をしながら話す場所すらありませんでした」と須田さん。

●●● 皆が集まれるカフェを ●●●

町の住民が気軽に集まり、話せる場所を作ろうと思いついた須田さんは、内閣府の起業家支援事業を利用することにしました。応募するにあたって現在の団体であるコナモーレ



▲「カフェRio's」にてこだわりのコーヒーを淹れる須田さん

を立ち上げています。メンバー、会員には二十代〜七十代と幅広い年代がいます。

肝心の、皆が集まれる場はコミュニケーションカフェとすることにしました。須田さん自身が栄養士の資格を持っていたこと、町内の人だけでなく町外の人でも利用できる場にしたかったことがその理由です。カフェを開くための土地は地元の人から無償で借りることができ、建物は会員の紹介によってやはり無償で借りたコンテナハウスを使用することになりました。こうして昨年三月、『カフェRio's』がオープンしました。

●●● NPOとしてもっと地域へ還元 ●●●

コナモーレは昨年五月、女川町民の活動の場づくりに寄与することを目的にNPO法人化しました。その具体的な事業としては、在宅ワーク支援とカフェ運営(人の集う場所づくり)を掲げています。

在宅ワーク支援として行っているのは健康運動用のダンベル作り。町民にダンベルを作ってもらい、コナモーレが取りまとめます。現在は五人の住民がこのダンベル作りをしており、一人あたり毎月六〇〇〇円〜二万円ほどの収入になっています。今後は新たな商品の開発や、カフェスペースを使った「職につながる教室」の開催を見込んでいます。

そして、もともと飲食店経営の経験もないままに始めたカフェ運営。オープンから一年が経つてみて、「仕入れ、広報、メンバーのソフト管理などいろいろと課題が見えてきた」と須田さんは言います。ただ、オープン当初は知り合いの紹介で訪れる客が多かったのに対し、今では常連客や、わざわざ町外から来てくれる人も増えてきています。

もともと女川町に気軽に集える場所を作るために立ち上がった団体ですが、これからはNPO法人として、もっと地域の人々を巻き込んでいく必要も感じています。カフェの運営も含めたそれらの課題は目下、メンバー同士で検討中です。

NPO法人働く場づくりコナモーレW

〒986-2244 牡鹿郡女川町桜ヶ丘5-4
●TEL: 0225-98-3213
●E-mail: conamore-w@abelia.ocn.ne.jp

登米の市民活動を応援します

● NPO法人とめ市民活動フォーラム

田園風景と渡り鳥の飛来地である伊豆沼を有する登米市は、二〇〇五年四月一日にそれまで登米郡だった迫町、登米町、南方町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町の八町と本吉郡津山町が合併してできた市です。

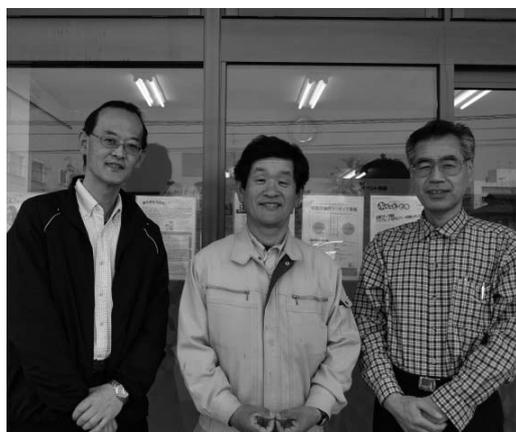
登米市は、二〇〇七年五月に策定した「登米市協働のまちづくり指針」に沿って「市民が主体となった協働のまちづくり」を進め、昨年四月には、登米市まちづくり基本条例を施行しました。その中には、まちづくりへの市民参画や市民が取り組む地域活性化活動の促進、それを担う市民活動団体やコミュニティ組織などの人材育成などが盛り込まれています。その担い手としてNPO法人とめ市民活動フォーラムが生まれま

活動を応援する組織

二〇一一年十一月、登米市が二年をかけて協議してきた登米市中間支援組織検討委員会の最終報告書が提

出され、(仮称)登米市市民活動センターの設置とそれを担う組織の必要性が提言されました。

直後、その委員会の中心メンバー三人と既に登米市を拠点に活動していたNPO法人リーダー、元社協の職員、行政職員などで任意団体であるとめ市民活動フォーラムを設立。とめ市民活動フォーラムは、以前より登米市との連携を図っていた仙台市のNPO法人杜の伝言板ゆるるとともに、県の新しい公共支援事業に提案する「登米市市民活動支援拠



▲左から及川幾雄副理事長、鈴木清理事長、及川敏弘副理事長兼事務局長

点づくり事業」に参画し、「とめ市民活動支援協議会」が結成されました。それ以降、改めてNPOや市民活動の運営について学んだり、他の支援施設に見学に行ったりしながら、昨年四月、「とめ市民活動プラザ」をオープンさせました。

この一年、毎月の市民活動相談のほか、登米地域の市民活動団体の助成金申請や広報活動を支援するための講座を開催してきました。また、市民からネーミングを募集した情報紙『ぶらっと・とめ』も隔月で発行しています。その甲斐あって、とめ市民活動プラザの利用人数は六〇〇〇人を超えました。

新しい公共支援事業は今年三月末日で終わりましたが、この実績を評価され、四月一日からは、登米市が設置する「とめ市民活動プラザ」の委託団体として運営しています。

コミュニティも応援

今年度のとめ市民活動プラザは、コミュニティ支援も増えることからスタッフも三人になりました。とめ市民活動プラザの担当部署である登米市市民活動支援課の星茂喜課長は、「私たちも地域のことをよくわかっている」とめ市民活動フォーラムの皆さんとともにコミュニティ支援ができることで、より市民の想いが分かり、よい成果につながることを



▲今年からとめ市民活動フォーラムが運営する「とめ市民活動プラザ」

期待しています」とエールを送っています。

現在もコミュニティ組織の活動を続けるのとめ市民活動フォーラム理事長の鈴木清さんは、「私たちも登米市が安心して暮らせる住みよい地域となるよう活動を応援していくための力をつけなければなりません。これまで協議会を組織してきた登米市や杜の伝言板ゆるるとも連携しながら民間らしいとめ市民活動プラザにしていきたい」と語りました。

市民との協働を掲げる登米市、その施策の実現を担う存在としてとめ市民活動フォーラムには期待が寄せられています。

NPO法人とめ市民活動フォーラム

〒987-0511 登米市迫町佐沼字南元丁41-5

●TEL/FAX : 0220-44-4167

●E-mail : npo@tome-shiminplaza.jp

●URL : http://www.tome-shiminplaza.jp/

新しく入ったショップを紹介！ 『まきば★バザール』

MIYAGI NPO PLAZA

このページは、みやぎ
NPOプラザからのお知らせ
です。



▲笑顔で接客対応してくれた「りのちゃん」

みやぎNPOプラザには、市民・NPOによるコミュニティビジネスを支援する場として設置された貸出し用のショップスペース「常設ショップ」があります。今年四月、そこに新しく団体が入居し、ショップを開設しました。ショップは『まきば★バザール』、運営するのはNPO法人まきばフリースクール(以下、まきばフリースクール)です。

まきばフリースクールは、一九九九年から栗原市高清水を拠点に不登校や引きこもり、発達障害など、さまざまな理由で生きづらさを抱えている人々やその家族の心の安定を支え、教育・生活・就労に関する支援を継続して行っている団体です。主な事業としては、相談や学習サポートを行う個別支援事業『フリースクール』、農業・介護などの職場体験を行う就労支援事業『まきばフ

クス』、農業・料理・手芸・アウトドア体験などの学習支援事業があり、東日本大震災以降は、石巻市大川地区を拠点に復興支援事業も行っています。

社会と交わるための 場所として

「不登校や引きこもりの経験を持つ青年たちが社会へ出ていく直前のステップとして、一般社会と交わる場所づくりの必要性を感じていた時に、みやぎNPOプラザがショップスペース入居団体の募集をしていることを知り、応募しました」と話すのは、まきばフリースクール理事で『まきば★バザール』担当の櫻井由紀さん。仙台から通ってきているメンバーがいることもあり、就労訓練や働く場として喫茶店か雑貨ショップを仙台でオープンすることができないか模索していたと言います。

今回オープンしたショップ『まきば★バザール』では、現在、石巻の仮設住宅で作った箸入れやミサンガなどの復興支援グッズ、まきばワーカーズのメンバーが作ったアクリルたわしやカントリー・ドールなどの手芸品や新聞紙バッグ、コーヒーカーップをはじめとする陶器などを販売しています。メンバー二十名程が日替わりで二〜三人一組になり、販売の対応をしていきます。

今後は、まきばフリースクールの畑、通称「まき畑」で作る無農薬有機野菜の販売や、新聞紙バッグを作るワークショップ、陶芸のワークショップなども開催する予定です。

ショップに期待すること

「接客で表に出て活躍する子もいれば、販売物を作成するなど裏方で活躍する子もいます。このショップをそれぞれが得意とするものを活かしつつ、お客さまに喜ばれることを通じて自己実現を図り、訪れるさまざまなお客さまとの交流を通して、メンバーもメンバーが作成している販売物も共に成長していける場にしていきたいです」と櫻井さん。また、ショップ活動を通して、まきばフリースクールの活動や生きづらさを抱えた青年たちの存在などをより多くの人に知ってもらい、応援してもらえるよう働きかけたいとも。

二年後、自前のショップと喫茶スペースを併設した作業所を開設できるようにショップスペースを有効的に活用したいと意欲的です。

まきば★バザール

営業日：木・金・土・日
営業時間：9:30～15:30 ※木は10:00～
運営：NPO法人まきばフリースクール
TEL：0228-25-4481

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

(指定管理者：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533

E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp

第30回 老後を豊かにするボランティア活動資金の助成

- 助成対象：(1)高齢者支援を目的として地域で実践している活動
(2)地域の活動で内容が先駆的かつ他の範となる活動
(3)今日のニーズに対応した内容で継続性の高い活動
- 対象団体：地域社会で高齢者のための活動を行っているボランティアグループ
2年以上の活動実績を持ち、ボランティア数が10～50人程度であること
※社団法人、財団法人、社会福祉法人、NPO法人は対象外
- 助成金額：活動に使用する用具・機器類の取得資金として、1グループあたり上限10万円(計150グループ程度を予定)
- 募集締切：5月24日(金)消印有効
- 連絡先：財団法人 みずほ教育福祉財団(担当:羽鳥光秋)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行内
TEL：03-3596-4532 FAX：03-3596-3574
E-mail：FJP36105@nifty.com

東日本大震災現地NPO応援基金 特定助成 「大和証券フェニックスジャパン・プログラム2013」

- 助成対象：東日本大震災の被災者の生活再建に取り組む現地NPOの人材育成
- 対象団体：岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的な視点で支援する「現地NPO(要法人格)」で、特に次の目的をもつものを重視
(1)社会的に弱い立場にある被災者の生活再建を支援
(2)被災者の安心・安全な居住・生活基盤の再建を目指した復興まちづくりを支援
- 助成金額：1件あたり500万円以内(本年度の新規・継続を含めた助成総額は3,500万円程度)
- 助成期間：2013年10月～2014年9月の1年間
- 募集期間：5月20日(月)～5月31日(金) 必着
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド
「大和証券フェニックスジャパン・プログラム」事務局(担当：神山・山田)
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B
TEL：03-3510-1221 FAX：03-3510-1222
詳しくはWebから、<http://www.jnpoc.ne.jp/?p=3574>(日本NPOセンター HP)

第25回 地域福祉を支援する「わかば基金」

- 支援対象：(1)支援金部門
一定の地域に活動拠点を設け、より活動の輪を広げたいというグループ
(2)リサイクルパソコン部門
すでにパソコンを利用して福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで活動の充実を図れるグループ
(3)東日本大震災被災地 支援金部門
東日本大震災の被災地に活動拠点があり、その地域で福祉活動をすすめているグループ、活動場所の再整備や被災地で新たな事業を展開したいと考えているグループ
- 対象団体：地域に根ざした福祉活動を展開しているグループ(NPO法人は含む)

- ※NPO法人以外の法人は対象になりません
- 支援金額：1)1グループにつき最高100万円(およそ7グループ)
2)1グループにつき3台まで(総台50台)
3)1グループにつき最高100万円(およそ5グループ)
- 応募方法：所定の申請書で応募が必要です。申請用紙を取り寄せるか、HP <http://www.npwo.or.jp> からダウンロードしてください。
- 募集締切：5月31日(金)必着(郵送のみ)
- 連絡先：社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1
TEL：03-3476-5955(平日10:00～18:00)
E-mail：info@npwo.or.jp

2013年度 ザ・ボディショップ ニッポン基金

- 助成対象：(1)化粧品・トイレタリー製品製造における動物実験反対や、絶滅の危機に瀕する動物保護などの、動物保護にかかわる活動
(2)環境保全にかかわる活動
(3)人権擁護にかかわる活動
(4)東日本大震災に関わる支援活動
- 対象団体：・原則として日本に拠点があり、上記の活動を継続的に行っている団体(法人格の有無は不問)
・ザ・ボディショップのバリューズ(価値観)に合っていること。
- 助成金額：10万円～30万円
ザ・ボディショップの創業者アニータ・ロディックの情熱を継ぐような活動であると認められた活動に対して贈られるアニータ・ロディック記念賞のみ上限50万円
- 助成期間：2013年8月1日以降に開始し、2014年7月31日までに完了する事業
- 募集期間：5月31日(金)23：59まで(原則Eメールにて送付。郵送の場合、当日消印有効)
- 応募方法：ザ・ボディショップウェブサイトより応募要項、応募用紙をダウンロードの上ご応募ください。
http://www.the-body-shop.co.jp/values/act_japan/grant.html
- 連絡先：ザ・ボディショップ ニッポン基金事務局
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル6階
ザ・ボディショップ(株式会社 イオンフォレスト)内
TEL：03-5215-6126 FAX：03-5215-6136
E-mail：HQ.VALUES@the-body-shop.co.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成 住民支え合い活動助成(第8次)

- 助成対象：被災地における地元のグループによる助け合い活動
- 対象団体：宮城県において地元住民のグループ等による助け合い活動を行う、宮城県に所在し県民5名以上で構成されている住民団体やボランティアグループ、NPO法人等
- 助成金額：1団体1回につき上限10万円(平成25年度分として総額5,000万円) 同団体から1年間に2回までの応募が可能
- 募集期間：6月3日(月)～6月28日(金)必着 助成決定7月下旬
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28
TEL：022-292-5001 FAX：022-292-5002

の生の声を聞きにぜひ足を運んでください。

- 日 時：6月1日(土) 17:30～20:30(予定)
- 場 所：仙台市福祉プラザ 1Fプラザホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- ゲ ス ト：早川千晶氏(ケニア在住フリーライター)
大西マサヤ氏(ンゴマ奏者)
リリアン氏(マゴソスクール創設者)
オギラ氏(マゴソスクール教頭)
オドンゴ氏(マゴソOBOGクラブ会長)
ドリス氏(マゴソファミリーの小さなお母さん)
ザブロン氏(マゴソアートクラブ会長)
- 参 加 費：一般1,500円
学生(高校生以上)&会員1,200円
- 主 催：NPO法人amani・ヤ・アフリカ
- 連 絡 先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ レターケースNo.16
TEL：022-247-4225
URL：http://amani-ya.com/

6/2 震災復興支援キャリアセミナー&シンポジウム 民間教育機関における実例から対応スキルを学ぶ 「若者の自立・離職しない就労支援について」

民間教育機関の実例を紹介しながら、今後の若者の就労支援を考えます。このセミナー&シンポジウムは、保護者、支援者、学生、教育関係者など、どなたでも参加できます。

- 日 時：6月2日(日)
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
- 内 容：★セミナー
(1)就労に必要なキャリア教育 10:00～10:45
講師：安部雅昭氏(星槎大学講師)
(2)就職と離職の現状について 11:00～11:45
講師：桑名暢氏(キャリアプランニング株式会社代表)
(3)生徒支援からの就労と離職 12:30～13:15
講師：石川昌征氏(フリースクールだいと代表)
(4)保護者支援からの就労と離職 13:30～14:15
講師：土佐昭一郎氏(NPO法人ミヤギユースセンター代表)
★シンポジウム&質疑応答
- 対 象：保護者、支援者、学生、教育関係者など、どなたでも参加できます
- 定 員：各講座80名
- 参 加 費：無 料
- 申 込 方 法：不要。直接会場へお越しください
- 主 催：NPO法人ミヤギユースセンター、星槎大学

フリースクールだいと、キャリアプランニング株式会社

- 連 絡 先：NPO法人ミヤギユースセンター
TEL/FAX：022-256-7977
フリースクールだいと
TEL/FAX：022-249-4023
キャリアプランニング株式会社
TEL：022-739-9110

6/2 ドキュメンタリー「死刑弁護人」上映会

悪魔の弁護人と呼ばれた弁護士、安田好弘。彼は尽きるところ何者なのか。なぜ、わが身を顧みずに困難な弁護活動に命を削るのか。なにゆえこうまで権力の不正を憎むのか。どうして割に合わない仕事を引き受け、全霊で全うしようとするのか…
これらへの答えは、骨の髄まで腐った国家と社会の暗部にむけた、彼の怯まぬ眼差しと憤怒から演繹されなければならない。われわれは弁護人・安田好弘を必要としている。このドキュメンタリーは、そのことを諄々と証そうと試みている。

- 日 時：6月2日(日) 14:00～
上映後、舟木友比古弁護士によるミニ講演「死刑の現状は今」を開催
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
- 入 場 料：当日1,000円
- 主 催：死刑廃止連絡会みやぎ
- 連 絡 先：TEL：022-261-4251(相良)
E-mail：spqb69z9@aroma.ocn.ne.jp

6/7 不安を解消！NPO法人のための会計 初級講座

「NPOの会計は初めてでよく分からない」そんなお悩みを解消！NPOの会計の基礎から、一般企業とは異なる特徴、帳簿の付け方、具体的な日々の会計処理まで分かりやすく学びます。

- 日 時：6月7日(金) 13:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：平野由紀子氏(税理士)
- 対 象：NPOの会計担当者や理事、監事、これから会計を担当される方、再確認したい方など
- 定 員：20名
- 参 加 費：1,000円(税込)
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
- ※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- 講師：真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定員：各回15名(事前申込受付順)
- 参加費：1,000円
- 主催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308
E-mail：npo@md-sendai.com

- 場所：エル・ソーラ仙台 大研修室
- 対象：2013年9月末までに初めて育休復帰する女性
- 定員：20名(先着順)
- 参加費：500円
- 託児：5月21日(火)までに要申込
定員になり次第締切。先着順
- 主催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：エル・ソーラ仙台
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
URL：http://www.sendai-l.jp

5/24 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日時：5月24日(金) 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

5/24 市民活動無料相談会

NPO法人の設立に関わることや市民活動団体の運営に関する相談を、経験豊富な専門家が対応します。お気軽にご相談ください。

- 日時：5月24日(金)10:00～18:00(1団体約1時間)
- 場所：とめ市民活動プラザ(下記連絡先参照)
- 相談対応：大久保朝江氏(みやぎNPOプラザ館長)
- 申込方法：事前予約制。下記にお問合せ下さい。
- 主催：とめ市民活動プラザ
- 連絡先：〒987-0511 登米市迫町佐沼字南元丁41-5
TEL/FAX：0220-44-4167
E-mail：npo@tome-shiminplaza.jp
URL：http://www.tome-shiminplaza.jp/

5/29 育休復帰をイメージアップ!

職場復帰の日が近づき、仕事モードに切り替えられるか、育児との両立ができるか、悩む女性も多いはず。復帰後の生活を具体的にイメージアップしながら、仲間と一緒に不安を解決しましょう。

※ワークショップはお子さんと一緒に参加できません。

- 日時：5月29日(水) 10:30～12:30

5/31 ユニセフのつどい2013 inみやぎ

宮城県ユニセフ協会では、県内のみなさまにユニセフ活動をお知らせするとともに、世界の出来事に関心を持ち、ユニセフへご協力いただけるようなイベントを開催してきました。一昨年の東日本大震災では、世界中の目が被災地東北に向けられ、ユニセフも約50年ぶりに被災した子どもたちの支援にあたりました。「子どもにやさしい復興」をめざして、3年目の支援を継続するにあたり、「心理社会的支援」について理解を深めます。

- 日時：5月31日(金) 10:30～12:30(10:00開場)
- 場所：仙台市福祉プラザ ふれあいホール
- 内容：(1)宮城県ユニセフ協会の2012年度の活動報告
(2)朗読「星に昇った少年」
読み手：六華亭遊花さん(落語家)
(3)ユニセフ・カード&ギフトの頒布やパネル展示、ジオラマ展示
- 定員：300名(定員になり次第締切)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください。整理券を発行します
- 主催：宮城県ユニセフ協会
- 連絡先：〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
みやぎ生協ウィズ内
TEL：022-218-5358 FAX：022-218-5945
E-mail：sn.municef_miyagi@todock.jp
URL：http://www.unicef-miyagi.gr.jp

6/1 From Kenya to you ～マゴソスクール卒業生来仙!～

マゴソスクールの創設者リリアンと教頭のオギラが今年もまたまた来仙します!!そして、なんと、マゴソスクール卒業生の中から3人の生徒も来んです!!今回のイベントは、トークあり、歌あり、ダンスありでご来場のみなさんが楽しめる内容となっております。ケニア人総勢5名のイベント。彼ら

社の伝言板

ゆるる
に

協賛広告を 載せてみませんか?

サイズ(横×縦、単位:mm)	協賛金	
50×180 掲載箇所:p.10～p.15	市民活動団体 (NPO法人含む)	10,000円
	上記以外 (企業、自治体など)	30,000円
100×180 掲載箇所:裏表紙	一律	50,000円

※上記料金は作成済み広告データを持ち込んだ場合のものとなります

月刊ゆるるは県内全域を対象に10,000部を発行しています。
この誌面を貴社・貴団体の広告ツールとして利用してみませんか?

13:00～15:00 プロのデザイナーによる添削とワードでの校正作業
 ※午後のみ参加の方は、チラシをワードファイル形式でCD・フラッシュメモリに入れてお持ち下さい。パソコンの持ち込みも可能です

- 対象：ワードの基本操作が出来るサークル・NPO・市民団体の方
- 定員：10名(定員になり次第締切)
- 参加費：午前の部・午後の部、それぞれ1,500円
- 主催：NPO法人パソコンママネット
- 連絡先：NPO法人パソコンママネット
TEL：0225-23-0822

5/16 ホームページ作成講座 ～あなたの団体にホームページがありますか?～

ホームページ作成の経験がない、費用も時間も無いとお考えの方に朗報です。最新のサービスを利用すれば、簡単にしかも費用をあまりかけないで、あなたの団体にホームページをつくることができます。

- 日時：5月16日(木) 10:30～16:30
- 場所：みやぎNPOプラザ 研修室
- 対象：非営利団体の関係者(法人、任意は問いません)
- 定員：5名(先着順)
- 参加費：2,000円
- 持ち物：(1)実習を中心におこなうのでパソコンを持参
パソコンを持参できない方には、貸し出しも可(200円別途いただきます)
(2)実習で使用するホームページの掲載記事
(3)団体紹介やお知らせの原稿、活動の様子などを撮った写真(数枚)
(パソコン、USBメモリーに保存して準備)
- 申込方法：下記HPより申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、FAX、メールにて申込
- 申込締切：5月11日(土)
- 主催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連絡先：NPO法人イー・エルダー東北支部
TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

5/19 我が子に会いたい親の会主催 公開ミーティング 被災地における離婚と子ども 被災地における面会交流支援と今後の政治活動

2月に実施された「面会交流支援事業 検討会」を踏まえ、当会では来る5月仙台市に対し、公的面会交流支援事業に関する要望書及び事業計画案を提出する予定です。
 今後、被災地における公的面会交流支援事業の実現に向けて、政治的な働きかけが重要な課題の1つとなることでしょう。
 今後の被災地における親子の面会交流を考える機会として、広く離婚と子どもの問題に興味と関心のある皆様方のご参加を歓迎いたします。

- 日時：5月19日(日) 14:30～16:30
- 場所：東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館) 603会議室(仙台市青葉区国分町3-3-7)
- 内容：総会(14:35～14:55)
講演「被災地における面会交流支援と今後の政治活動」(15:00～16:20)
- 対象：離婚により子どもとの面会交流が困難となった当事者、面会交流事業の支援者、その他交流支援事業に関心のある方
- 定員：40名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主催：我が子に会いたい親の会
- 連絡先：TEL：090-7334-7361 FAX：0463-67-6297
E-mail：yandk55@gmail.com
URL：http://wagakonokai.jimdo.com/

5/21 市民のための印刷物デザイン講座

地域活動・市民活動の思いが伝わる印刷物を作るための講座です。基礎編では、手に取ってもらい、読んでもらうためのデザイン・レイアウトの基礎を、ステップアップ編では、基礎編を踏まえ、より具体的に実践的なデザイン・レイアウトの方法を学びます。

- 日時：(1)基礎編
5月21日(火) 19:00～20:30
(2)ステップアップ編
5月28日(火) 19:00～20:30
※連続講座ではありません
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室2

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分3月11日～4月10日 仙台市所轄分3月11日～4月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
生命と環境保全	白石市	環境保全に関する人材育成事業及び環境保全に取り組む人々との交流事業等	3/22	宮城県等
笑が家	大崎市	障がいのある子どもたちへの放課後ケア・長期休暇ケアに関する事業	3/27	
そのつ森	丸森町	高齢者福祉事業や宿泊・交流事業等を通じて地域での活性化を図る	4/1	仙台市
あいのはな	大河原町	単独型短期入所事業及び放課後等児童デイサービス事業を通じて障害者等の支援を行う	4/8	
お茶っこケア	石巻市	地域住民への通所介護事業・障害福祉サービス事業や子育て支援事業等	4/8	仙台市
カタパルト・D・センター	泉区	夢を持つ価値を伝える活動事業、夢実現のための支援事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業	3/11	
みやぎ絆ネットワーク	青葉区	フットケア研修及び普及事業、褥瘡ケア研修及び普及事業、学習会及び講習会を開催する事業	3/13	
被災支援ネットワーク・東北ヘルプ	青葉区	福島原発事故による放射能被害に対する支援事業、津波により被災した人々に対する自立等支援事業、広報・啓発事業	4/5	

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分3月11日～4月10日 仙台市所轄分3月11日～4月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
総合武道拳聖	刈田郡蔵王町	空手道等のスポーツ教室を通じたスポーツ振興、海外からの短期ホームステイ	3/11	宮城県
仙台進路指導塾	塩竈市	若年者や求職者への就労に関するサポート、スポーツ等を通じた青少年の健全育成	3/12	
海への森をつくろう会	気仙沼市	自然環境の回復及び震災の記憶を風化させず、未来へ繋いでいくための植樹活動	3/13	
宮城グリーンフィールド	仙台市巨摩郡山元町	東日本大震災で被害を受けた地域の農業振興に関する事業	3/19	仙台市
アスヘノキボウ	社鹿郡女川町	地域の活性化・発展・変革を実現するための各種計画を作成し、実行する事業	3/21	
みなとまちセラミカ工房	社鹿郡女川町	ものづくりの場を提供し、創造活動を支援する活動	3/25	仙台市
PREMO(ふれも)	塩竈市	高齢者及び障害者等の権利擁護を目的として、成年後見制度の活動支援事業及び相談事業	3/27	
孫の手	青葉区	高齢者、生活弱者に対しての生活支援事業、コミュニティづくり支援事業、地球環境・地域環境の保全事業等	4/5	仙台市
健幸美楽	青葉区	健康運動支援事業、介護予防及び運動啓発事業、サポーター養成事業等	4/9	

宮城県のNPO法人数 **709** 団体
 宮城県等所轄:321団体 ※2013年4月10日現在
 仙台市所轄:388団体

- 申込方法：ご興味のある方は、下記の連絡先までお問合せください。
- 連絡先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台(担当:佐藤)
TEL：022-387-0656
E-mail：info@sendai-city.org

電話相談

こころの健康電話相談

こころを巡る様々な問題が深刻化している今日この頃、また震災というとても大きな出来事を体験した皆様に、実際に臨床心理士と話すという体験を持って頂くことで、日々の生活へ立ち向かう元気を取り戻したり、問題解決への第一歩を踏み出したりするきっかけにして頂くことが願いです。

- 相談電話番号：022-290-6656
※相談は無料ですが、通話料金はご負担ください
- 開設日時：5月4日(土)、6月1日(土) 17:00～20:00
- 主催：宮城県臨床心理士会
- 連絡先：〒986-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎいのちと人権リソースセンター内
宮城県臨床心理士会事務局

イベント

5/11 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛い気持ち等を、静かに語り合います。「ここで聞いたことを他の人には話さない」と約束してから、始めますので、会の中で話されたことは、他に漏れることはありません。普段の生活の中ではなかなか話せないこと、ご遺族同士だからこそ分かり合える気持ちなど、安心してお話しして頂くことができます。

- 日時：各回14:00～16:30
- ★岩沼会場(毎月第2土曜日)
5月11日(土)、6月8日(土)
場所：岩沼市民会館 第2会議室
(岩沼市里の杜1-2-45)
- ★石巻会場(毎月第2日曜日)
5月12日(日)、6月9日(日)
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- ★仙台会場(毎月第3土曜日)
5月18日(土) 6月15日(土)
場所：仙台市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 対象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- 申込方法：不要
※託児をご希望の方は事前にお知らせください
- 主催：仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186

5/12 福島・山形・宮城 南東北3県合同フォーラム ～引きこもり・不登校・発達障がい～ 青少年自立支援セミナー&シンポジウム(宮城会場)

さまざまな理由で不登校をしている生徒や、社会との接点を

もたず長期に渡って人との関わりを避け、仕事に就かない若者、引きこもる若者が増加の一途をたどり大きな社会問題になっています。長年に渡り、不登校や引きこもり・ニートなどの青少年の自立支援を行ってきた福島、山形、宮城のNPOが一同に介し、早期解決を目指し、数多くの関わりの中からさまざまな事例に基づき、実態を説明、その予防と回復・改善のための具体的対応をアドバイスします。また、参加者からの質疑に対し全員で考える「シンポジウム」を開催します。

- 日時：5月12日(日) 13:30～16:30
- 場所：仙台市民会館(仙台市青葉区桜ヶ丘公園4-1)
- 内容：★第1部 セミナー
主催3団体による事例紹介と早期解決について
★第2部 シンポジウム&個別相談会
- 参加費：無料
- 主催：NPO法人東北青少年自立援助センター蔵王いこいの里(山形)
NPO法人ヒューマンコミュニティサポートAi・うつみね健康学園(福島)
NPO法人ミヤギユースセンター(宮城)
- 連絡先：NPO法人ミヤギユースセンター
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203
TEL/FAX：022-256-7977

5/12 テーブルゲームであそぼう! 12

国内外のボードゲームやカードゲームをこどもも大人も一緒になって遊びます。時間内出入り自由です。ご家族やお友だち同士、ぜひ、ご参加ください。

※当日のスタッフとしてお手伝いいただけるボランティアも募集しています。

- 日時：5月12日(日) 13:00～16:00
- 場所：青葉区中央市民センター 和室
- 参加費：無料
- 申込方法：事前申込不要
- 主催：こりれいず
- 連絡先：TEL：070-5470-6355(代表：須藤)
E-mail：korireizu@gmail.com

5/15 NPO・市民活動団体のための情報発信講座 「チラシのデザイン力」

貴方の団体の広報をお手伝いします。Wordでチラシを作成し、専門家の添削が受けられる講座です。既に作成してある方は、午後の添削と校正からの参加も可能ですので、ぜひお申し込み下さい。集客力アップ! 見てもらえる! 手に取ってもらえる! 印象的なチラシを作りましょう!

- 日時：【仙台会場】5月15日(水)
場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
【石巻会場】5月20日(月)
場所：Yahoo!復興ベース
※両会場とも同内容
- 講師：(午前の部)遠藤一恵氏
(NPO法人パソコンママネット)
(午後の部)真山正太氏
(一般社団法人メディアデザイン)
- 内容：10:00～12:00 ワードを使ったチラシ作成

- 活動日時：毎月不定期でプログラムを実施しています。詳しくはホームページのスケジュールをご確認ください。<http://artsforhope.info/schedule/>
- 活動場所：宮城支局(仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ内)または、宮城県内の児童館、仮設住宅など
- 活動内容：事務所内でのワークショップ準備、児童館や仮設住宅でのワークショップサポート
- 応募方法：下記まで電話かメールでご連絡下さい
- 募集主体：ARTS for HOPE
- 連絡先：東京本部(担当：鈴木)
TEL：03-3280-7155
E-mail：artsforhope@gmail.com
URL：http://www.artsforhope.info/

事業案内

NPOの法人設立・運営相談

NPOの設立や法人申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをいたします。

- 日時：毎週水曜 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

有給スタッフ

災害救援に関心のある方、有給スタッフ募集

認定NPO法人難民を助ける会は、緊急・難民支援や地雷被害者などの障がい者支援、啓発活動などを行う国際NGOです。東日本大震災の被災現場でも、支援活動を行っており、復興に向けた活動に精力的に取り組んでいただける方を募集しています。

- 職務内容：(1)仮設住宅及び社会福祉施設等で週末に実施する活動の運営と調整
(2)活動にかかる報告書作成(日本語)
(3)その他活動の補佐
- 勤務場所：仙台事務所(住所は下記連絡先参照)
- 勤務時間：10:00～18:00(活動場所により、早出等有り)
- 契約期間：6か月(更新の可能性有り)
- 応募条件：PC基本操作(ワード、エクセル、E-mail等)ができる方、社会人経験が3年以上有る方、宮城県・岩手県での支援活動の経験がある方(ボランティア含む)
- 勤務条件：日給6,000円
週末(土・日)を含む週4日勤務が可能な方
- 応募方法：基本は当会HPの身上書をダウンロード
※入手不可であれば履歴書でも可
身上書は、<http://www.aarjapan.gr.jp/recruit/#job8>からダウンロード
- 募集主体：認定NPO法人難民を助ける会
- 連絡先：仙台事務所(担当：大原)
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-16
家福ビル3F
TEL：022-748-5781 FAX：022-748-5782
E-mail：japan_eq2011@aarjapan.gr.jp
URL：http://www.aarjapan.gr.jp

アジアのフェアトレード雑貨『織り人』短期ショップ

アジアの中には、多くの民族が暮らし、それぞれの独特で美しい文化が育まれています。『織り人』では、代々民族に受け継がれてきた、伝統の刺繍や織りの技術をいかしたフェアトレード雑貨を販売しています。通常は、オンラインショップのみの販売です。ぜひ、実際にお手にとってご覧ください。

※今回の販売期間中の売り上げの一部は、タイの教育支援NGO『マレットファン』を通じて、タイの子どもたちのための活動に充てられます。

- 日時：5月21日(火)～28日(火) 11:00～17:00
※27日(月)を除く7日間
- 場所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主催：マレットファン日本のたね
- 共催：アジアのフェアトレード雑貨『織り人』
- 連絡先：アジアのフェアトレード雑貨『織り人』
E-mail：info@orijin.asia

「3.11キヨクのキロクそして現在(いま)」

震災から2年が経ち、復興が進んだところと今もほとんど変わらないところ。どちらも知って欲しい被災地の「いま」です。震災直後と今の様子を上下に配し製作したポスター展を開催していただける団体、場所、もちろん個人でも！を全国から募集しています。

- 内容：ポスターサイズA2判ポスター
(タテ594×ヨコ420ミリ)
Aプラン：16種類(枚)セット11,000円
Bプラン：32種類(枚)セット20,000円
Cプラン：48種類(枚)セット30,000円

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.4.16現在)敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 89名

★仙台市 ●市川喜巳

寄付を頂いた方々 (2013.3.16～2013.4.16)敬称略

★仙台市 ●渡部孝子 ★大阪府 ●西平則子

会員募集

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

4月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

子どもたちを対象としたボランティアスタッフ募集

にじいるクレヨンでは、ボランティアスタッフを随時募集しています。震災で傷ついた子どもたちのため、あなたの力が必要です。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

- 活動時間：月曜～金曜日 15:00～18:00
土曜・日曜 10:00～15:00
(活動場所によって異なります)
- 活動内容：石巻市・仙台市・東松島市の仮設住宅に住む子どもたちへのレクリエーション活動
※活動中や移動中でのケガや病気、器物破損などによるリスクを低減するため、社会福祉協議会での「ボランティア活動保険」の加入をお勧めします(石巻ボランティアセンターでも当日の申し込みが可能です)
- 対象：子どもが好き、元気な人、やる気のある人、長期活動が可能、石巻の復興に役立ちたいと考えている人その他、将来子ども関係の仕事に就きたいと考えている学生や育児経験のある方、歓迎いたします
- 募集主体：NPO法人にじいるクレヨン
- 連絡先：〒986-0856 石巻市大街道南4-10-5
ヴィラ参番館202号室
TEL/FAX：0225-25-5144
E-mail：info@nijiiro-kureyon.jp

教育活動支援ボランティア募集

仙台たなばた分団は活動を支えるスタッフを募集しています。私たちは小中学生を対象に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と協力して科学実験や工作を教える活動をしています。大学生以上の方で科学が好き、子供が好き、そんな方を募集しています！ご興味のある方はぜひご連絡ください。

- 活動日時：月に一回程度 主に日曜日の13:00～16:00
- 活動場所：主に東北大学流体科学研究所
- 活動内容：活動支援ボランティア
- 対象：大学生・社会人
- 申込方法：メールでご連絡下さい
- 募集主体：公益財団法人日本宇宙少年団仙台たなばた分団
- 連絡先：E-mail：info@yacsendai.com
URL：http://www.yacsendai.com

日本語字幕制作ボランティア講座説明会開催

せんだいメディアテークでは、耳の不自由な方にも映画を楽しんでいただけるよう、日本語字幕を制作しています。その活動を行うボランティアのための講座を開催します。

- 活動日時：6月11日(火)～7月30日(火)までの毎週火曜日(全8回)

- 活動場所：せんだいメディアテーク 2階会議室
- 定員：10名程
- 応募資格：以下の条件をすべて満たす方
 - ・説明会に参加できる方(5/9、5/12、5/14のうちの1回)
 - ・講座に全回参加できる方(6月11日～7月30日までの毎週火曜日、全8回)
 - ・Windowsパソコンをお持ちで、メールの送受信やメモ帳などが使える方
 - ・講座受講後、継続してボランティア活動ができる方

【説明会】

- 日時：第1回 5月9日(木) 18:00～18:30
第2回 5月12日(日) 13:00～13:30
第3回 5月14日(火) 16:00～16:30
- 場所：せんだいメディアテーク7階 スタジオb
- 申込方法：住所、氏名、電話番号、メールアドレス、参加希望日を明記の上、メールまたはFAXで申込
- 申込締切：(第1回)5月6日(月)、(第2回)5月9日(木)、(第3回)5月11日(土)
- 主催：せんだいメディアテーク
- 連絡先：「字幕ボランティア講座事前説明会」担当
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL：022-713-4484 FAX：022-713-4482
E-mail：office@smt.city.sendai.jp

情報ボランティア募集!

月刊杜の伝言板ゆるるの発行には、県内のNPO・市民活動の情報収集が欠かせません。情報収集は、新聞記事や団体のニューズレター、チラシ、ホームページなど多岐に渡ります。ぜひ、私たちの活動の要となる情報収集作業にボランティアとして活動してみませんか？

- 活動日時：平日9:30～17:30の間で60分以上活動できるご都合の良い日
- 活動場所：NPO法人杜の伝言板ゆるる事務局(榴岡小学校向い)
- 活動内容：事務局内での情報収集、整理(新聞切り抜き、ファイリング等)
- 申込方法：電話・メールにてご連絡ください
- 募集主体：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる事務局(連絡先は、裏表紙下部をご覧ください)

宮城支局ボランティアスタッフ大募集!

「アート」で復興支援を行っているNPO『ARTS for HOPE』では、宮城支局のボランティアスタッフを募集しています。アート、手芸、工作、子どもたちや高齢者の仮設住宅訪問にご興味のある方であれば、年齢・資格不問です。ご興味のある方はどしどしご応募下さい!

復興ingみやぎ with NPO



あなたの支援×現地でがんばるNPO
＝被災地の明るい未来

みやぎで復興支援活動をしているNPOの紹介サイトです。
今年度は県内42団体の活動を紹介しています。
被災地の復興は、被災地に住む私たち一人一人にとって共通の課題です。
復興の原動力となっている宮城県のNPOをまずは知って頂き、そして応援してください。

設置 宮城県環境生活部共同参画社会推進課

管理・運営 NPO法人社の伝言板ゆるる

<http://miyagi-fukkouing.jp>

NPOでインターン やってみよう!!

住友商事 東日本再生
ユースチャレンジ・プログラム

—インターンシップ奨励プログラム— 2013

このプログラムは、被災地で活動しているNPOを活動現場とし、長期にわたるユースのインターンシップ活動を応援するものです。今年度、NPO法人社の伝言板ゆるるも受け入れ団体の一つとなりました。ゆるるでは、高校生のボランティア体験プログラムの運営サポートや『月刊社の伝言板ゆるる』の編集サポートをして頂く予定です。「NPOとは?」を知りたい方、取材・執筆に興味がある方にはとくにオススメです!

宮城県の受け入れ対象団体一覧

- NPO法人アスイク(子ども/学習支援)
- NPO法人Switch(若者/障がい者支援)
- NPO法人都市デザインワークス(まちづくり)
- NPO法人にじいろクレヨン(子ども支援)
- 一般社団法人ぶれいん・ゆに〜くす(障がい者&被災者支援)
- NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク(子ども支援)
- NPO法人社の伝言板ゆるる(市民活動団体支援)
- NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター(市民活動団体支援)



応募にあたって

インターンシップを希望される方は下記WEBサイトから応募要項をご確認頂いたうえ、下記送付先まで応募書類をご送付ください。

WEBサイト: <http://www.civalfund.org/youth-challenge.html>

応募期間 2013年4月27日(土)～5月15日(水)
*当日必着

- 対象:ユース世代(大学生/大学院生/専門学校生など)、主に10代後半～20代まで
- 書類送付先・問い合わせ先(現地協力団体):
特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
インターンシップ奨励プログラム事務局(担当:小川)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
E-mail: minmin@minmin.org
TEL:022-264-1281(平日10時～17時)

主催:住友商事株式会社

企画・運営協力:特定非営利活動法人市民社会創造ファンド